芦屋町小中学校電子黒板等更新業務委託　仕様書

1. 業務概要

（1）　件名　芦屋町小中学校電子黒板等更新業務委託

（2）　業務内容

本業務における業務内容は、以下のとおりとする。

① 本仕様書で記載された機器の納入を実施すること。

② 機器数量は別紙1.「改修教室及び機器数量表」を参照すること。

③ 納入する機器を正常に利用できるよう設置・設定を実施すること。

④ 設定する NW ｱﾄﾞﾚｽは教育委員会に相談すること。

⑤ 本業務を実施するに当たり、教員及び児童生徒の安全を最優先し授業や学校活動の妨げにならないようにすること。

⑥ 本業務の実施時期において、他工事等と重なる場合、教育委員会および業者間で協議すること。

2. 実施場所

（1）　芦屋小学校　　遠賀郡芦屋町白浜町 3786 番地

（2）　芦屋東小学校　　遠賀郡芦屋町浜口町 5 番 55 号

（3）　山鹿小学校　　遠賀郡芦屋町大字山鹿 2853 番地

（4）　芦屋中学校　　遠賀郡芦屋町中ノ浜 10 番 74 号

（5）　教育支援センター　遠賀郡芦屋町中ノ浜11番6号

3. 納期

契約日の翌日より令和9年　3月　31日とする

4. 作業範囲

本業務の対象は、学校4校の既設プロジェクターを交換し、動作試験するもの及び指定する教室の黒板改修を行うもの、並びに必要数のディスプレイ型電子黒板を納入するものである。

5. 諸条件

（1）　基本的条件

① 本業務の実施にあたり受注者は、芦屋町の指示を受け、本仕様書ならびに契約書に明示された機能、性能及びその他の条件を十分に満足させること。

② 受注者は、納入工程及び機器等の設置・調整等について、芦屋町及び各学校と十分に調整を行うこと。また、施工時に他の整備作業が実施されている場合、整備を受注した事業者とも調整を図る事。

③ 受注者は、本仕様書に明記されていない事項で必要と認められる作業は、芦屋町に報告し、協議の上、受注者の責任において実施すること。

④　機材の搬入及び交換は、学校運営及び授業に影響が出ないよう細心の注意を行って取り組むこと。
⑤　受注者は、受注者の責任において本仕様書に明記されていなくても、設備を完成させるために必要なケーブル・資材等を用意すること。
⑥　引渡しまでに生じた変更等には誠意をもって対応すること。
⑦　受注者は構築を再委託することができる。その場合には再委託申請書を提出することで、受託者も上記要件を満たすものとし、入札者は全体の管理責任者として受託者としての義務を果たすこと。
⑧　受注者は、撤去した旧機器及び段ボール等を適正に廃棄すること。

（2）　機器調達条件
①　本業務で調達する機器一式については、一括調達とする。

（3）　施工に関する条件
①　本業務は契約金額の範囲内で完成させるものとする。契約後において、詳細設計した結果、機器・資材及び工事等に増減が生じ、契約金額の変更が必要な場合は、芦屋町と協議の上、決定することとする。
②　受注者は、令和 9 年　3 月　31 日までにすべての設置を完了することとする。
③　反社会勢力と関係のある業者に下請負人をさせないこと。
1）　反社会的勢力関係事業者を下請負人（一次及び二次下請以降全ての下請負人を含む。）又は、資材、原料等の購入契約等の相手方（以下「下請負人」という。）としてはならない。
（a）　反社会的勢力団体関係事業者を下請負人としていた場合、芦屋町は受注者に対し当該下請契約等の解除を求めることとする。
（b）　（a）の要求に正当な理由がなく芦屋町からの当該下請契約等の解除の求めに従わない場合、芦屋町は受注者との契約を一方的に解除することとする。
（c）　反社会的勢力団体関係者を下請人等としたことによる契約違反の措置として、指名停止（公表）、警告、注意を行うこととする。
④　その他、芦屋町の定める留意事項を遵守すること。

（4）　使用材料及び機器に関する事項
①　機器及び材料は、原則入札時点で製品化されていること。
②　契約後、機器及び材料の製造中止等により契約時の機器等の導入が困難となった場合は、入札価格の範囲内で新機種に機器を変更すること。また、機器等の変更になった場合は、芦屋町と協議すること。
③　受注者は、本業務における調整スケジュール管理を確実に行うとともに、動作確認を行うこと。
④　導入については、各学校の日常業務に支障のないよう配慮すること。

⑤　検査の結果、機器の配置、取付け及び配線方法並びに部品定数等に変更を必要とした場合は、受注者において無償で改修すること。

⑥　輸送中に発生した損傷は、受注者において速やかに代品を納入するか無償で修理すること。

6．契約不適合責任期間

（1）　本業務を適切に完了できない等の契約不適合が生じた場合は遅滞なく芦屋町に通知するとともに、速やかに再度本業務を実施するか又は直接生じた損害についての賠償の責を負うものとする。

（2）　提出した成果物につき、隠れた契約不適合が発見され、芦屋町からの書面による通知が、成果物の所有移転の日から起算して1年以内に受注者に到達したときは、その補修の義務を負うものとする。

（3）　前項の契約不適合の原因につき、受注者の責に帰すべき事由がない場合、芦屋町は受注者にその契約不適合の補修に要した費用を支払うものとする。

（4）　受注者が補修を実施したにもかかわらず契約不適合が解消されなかったときは、その契約不適合が受注者の責に帰すべき事由による場合は、受注者は、その契約不適合が直接の原因で発生した損害につき賠償する責を負うものとする。

（5）　受注者が本業務の給付完了後において芦屋町に対して負う契約不適合責任その他一切の責任は、本条に定める範囲に限られるものとする。

7．関連法令

受注者は本業務の実施にあたり、契約書、仕様書、諸法令、条例、規則、関係通知等に準拠して本業務を遂行すること。

8．完了検査

受注者は、施工完了後の成果品を納品し、芦屋町の検査を受けなければならない。その結果、訂正を指示されたものについては、速やかに訂正を行い、納品すること。

9．操作研修の実施

ディスプレイ式黒板については、設置後教職員向けの操作研修を学校毎で実施すること。

10.引き渡し

本業務は、受注者が定められた項目の施工・納入を全て完了し、定められた届出書を提出したことで業務の完了とする。引渡しは、芦屋町の検査により、業務の完了が認められた後に　、文書の提出とともに行うこととする。引渡しが完了するまでに、各機器の管理は、受注者が責任をもって行うこととする。

11.提出書類

受注者は、芦屋町が定める本業務に必要な書類を提出すること。なお、承諾された事項を変更しようとする場合は、その都度芦屋町の承諾を受けること。

（1） 契約後

① 工程表

② 体制図

③ 機器仕様書等

（2） 完成時

① 完了報告書

施工記録・作業写真、撤去物の処分に関する証明書類等を含む

② 機器一覧（台帳）

設置場所、型番、シリアルナンバー等が記載された一覧表

③ 機器の取り扱い説明書・保証書等

（3） その他

① 芦屋町から指示があったもの

機器仕様書

1. プロジェクタ型電子黒板(EBー770FI)

設置場所及び数量については別紙1「改修教室及び機器数量表」を確認すること。
また、本機器は既設の壁掛金具及びインターフェイスボックス等との互換性および接続性を確保するため、エプソン製 EB-770FI とする。

方式	3LCD（3 原色液晶シャッター式投映方式）であること。
明るさ（全白／カラー）	全白 4,100lm カラー4,100lm 以上であること。
解像度（リアル）	Full HD
コントラスト比	2,500,000:1 以上であること。
スピーカー	16W 以上であること。
サイズ（W×D×H）	356×395×133mm 以内であること。
重さ	約 6.0kg 以下(金具含まず)であること。
インターフェイス	HDMI×3、無線 LAN（2.4GHz/5GHz 対応）有すること。
機能	・壁掛用の短焦点モデルであること
	・スクリーンミラーリング機能を内蔵していること
	・専用のインタラクティブボードが不要で、投写画面上でマウス操作が行えること
	・湾曲黒板投写時の歪み補正に対応していること
	・PC へのドライバーインストールが不要で、PC 接続すれば直ぐに操作が可能であること
	・【自動ペン位置合わせ】ペンの位置合わせが不要で、直ぐに使い始められること
	・ペンホバリング機能があること
	・板書内容を USB メモリへ保存が可能であること
	・電子ペンは電池式で、約 80 時間駆動できること
	・電源ケーブル 4.5m 以上、USB・HDMI ケーブル 5m 以上を添付すること
	・Chromebook を有線接続（HDMI＋USB）して電子ペンでの操作が可能なこと
	・レーザー方式で、ランプ交換不要なこと
PC レス黒板機能	パソコン不要で投写面に書き込みが可能なこと。
	書画カメラ（または DVD）映像への書き込みができること。
	同時書き込み可能な色数が 2 色以上であること。
	2 本同時に領域に関係なく、色を変えて書き込みができること。
その他	既設の壁掛プロジェクタの金具及びインターフェイスボックス、配線、および周辺部材をそのまま流用して設置すること。
	プロジェクタ本体と既設のインターフェイスボックスおよび配線類との接続を行い、正常に映像・音声およびプロジェクタが動作することを確認し、投影位置や投影サイズの調整を行うこと。 なお、設置作業時に動作確認・点検を行い、既設のインターフェイスボックスおよび配線類の不良や不具合が確認された場合は、本業務内で交換等の必要な措置を実施すること。
	既存設備は以下のとおり。 教室壁掛金具（AOI-SPCM-WS）、移動式電子黒板（きぼう-IV（スイング））、インターフェイスボックス（ELPCB02）、電子ペン（ELPPN05B）
	既存のプロジェクタの廃棄を行うこと。

2. ディスプレイ型電子黒板

設置場所及び数量については別紙1「改修教室及び機器数量表」を確認すること。

対応 OS	Windows 11 に対応していること
液晶ディスプレイ	６５型以上
内蔵 OS	AndroidOS、ChromeOS 又はこれらと同等の機能を有する OS を搭載し、電子黒板単体で、ホワイトボード、資料表示、画面保存、Web 閲覧及び無線画面共有等の基本機能を利用できること。また、日本語表示及び日本語入力に対応し、メーカーから OS 及びセキュリティーに関する更新プログラムが提供されること。（AndroidOS の場合、バージョンは 13.0 以上)。
プロセッサー・メモリ	8GB 以上のメモリ及び 64GB 以上の内蔵ストレージを備えること。
有線 LAN	1000BASE-T に対応すること。
無線 LAN	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax に対応すること。
Bluetooth	Bluetooth 5.0 以上に対応すること。
ディスプレイ	バックライトは LED であること。
	アスペクト比は 16：9 であること。
	最大解像度は 3840×2160 ドット以上であること。
	輝度は 400cd/㎡以上であること。
	コントラストは 1,200：1 であること。
	視野角は左右 178°／上下 178°以上であること。
	ディスプレイ表面は、アンチグレア処理を施した保護ガラスであること。
	タッチパネル検出方式は赤外線遮断検出方式であること。
電子黒板機能	最大 40 点以上のマルチタッチが可能なこと。
	付属のペンまたは指でタッチ操作できること。
	内蔵 OS 上で、指又は付属ペンによる書き込み、複数人の同時書き込み及び筆跡の消去ができること。ペン又はマーカーの色と太さを変更できること。
	ページの追加、削除及び切替えができ、背景色、罫線、方眼その他の背景テンプレートを設定できること。
	画像及び一般の PDF 教材を表示し、移動、拡大、縮小及び表示内容への書き込みができること。
	板書を画像又は PDF 形式で本体へ保存及び再表示できること。また、ネットワークストレージ若しくはクラウドストレージへの出力、又は QR コード、URL 若しくはネットワーク共有等による他端末への共有ができること。
入力／出力端子	HDMI 2.0 入力×3 以上、音声入力×1 以上、DisplayPort 入力×1 以上、USB Type-A ×5 以上（うち USB 3.0 以上を 3 系統以上）、USB Type-C×2 以上、電子黒板タッチ接続用 USB 2.0 Type-B×2 以上、RJ45×1 以上。
	USB Type-C 端子のうち 1 系統以上は、最大 65W 以上の給電に対応すること。
	出力端子及び制御端子として、次の端子を有すること。 HDMI 出力×1 以上、音声出力×1 以上、S/PDIF×1 以上及び RS-232×1 以上、 RJ45 端子を合計 2 系統以上備えること

スピーカー	合計定格出力 32W 以上のステレオスピーカーを内蔵し、内蔵 OS 及び Windows PC モジュールの双方から、動画教材、音声教材及び Web 会議の音声を出力できること。
カメラ・マイク	Web 会議システム、オンライン授業及び授業配信等に利用できる、最大解像度 1920×1080 以上かつ 30fps 以上のカメラ並びにマイクを備えること。内蔵・外付け及び一体型・分離型の別は問わない。外付けの場合は、使用に必要な付属品一式を含むこと。
無線画面共有機能	PC、タブレット及びスマートフォンの画面を、電子黒板へ無線でミラーリングできること。Windows、ChromeOS、iPadOS、iOS 及び Android のうち複数の OS に対応すること。
	既設の校内ネットワーク又はインターネットに接続していない環境でも、電子黒板との直接無線接続、専用送信機その他同等の方法により利用できること。
	OS 又は端末の種類が異なる場合を含め、2 台以上の端末画面を同時表示でき、ミラーリングした画面上へ電子黒板のペン又はタッチ操作で書き込みできること。対応する端末については、電子黒板からタッチ操作できることが望ましい。
PC モジュール	電子黒板に内蔵又は一体的に装着できる着脱式 PC モジュールであり、電子黒板本体の専用スロットに接続して使用できること。
	Windows 11 Pro 64bit を搭載し、Intel Core i5 又は同等以上の性能を有するプロセッサー、8GB 以上のメモリ及び 256GB 以上の SSD を備えること。
	無線 LAN は IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax に対応していること。
昇降式スタンド	耐荷重は 60kg 以上とすること。
	納入する電子黒板の画面サイズ、取付規格及び重量に適合し、電子黒板、PC モジュール、カメラその他の取付機器を含む総重量に対応できること。
	電動式とし、電子黒板を取り付けた状態で、スイッチ操作により安全かつ円滑に上下昇降できること。
	移動用キャスターを 4 個以上備え、移動後に固定できるロック機能を有すること。
	通常のタッチ操作及びペン入力時に、使用に支障を来す著しい揺れ、転倒又は脱落が生じない十分な耐荷重及び安定性を有すること。昇降時の挟み込み、衝突及びケーブル類の損傷を防止する構造又は安全措置を備えること。

3. 黒板改修

改修場所、形態については別紙1.「改修教室及び機器数量表」を参照のこと

（1） プロジェクター映写兼用ホワイトボード（白板）

製品仕様	白板（投映面）は、全国黒板工業連盟の認定基準（または JIS 規格同等品）に適合した「ほうろう白板」であること
	製作は、日本産業規格表示認証を受けた工場にて行うこと。
	ホワイトボードマーカーで書き消しが可能なこと。
	マグネットが使用できること。
	表面材は、ホーロー焼き付け暗線入りとすること。
	材質は、ホーロー鋼板と合板を貼り合わせた二層貼白板を基本とすること。
	色彩は、明度 8.0 以上、彩度 1.0 以下（無彩色）の特性を備えていること
	超短焦点プロジェクタの投映に適した、平滑性および反射を抑えた仕様であること。

その他	撤去した黒板は受注者側で適切に処分し、必要な費用は受注者の負担とする。
	施工の際は使用上の安全性を考慮し、取り付けすること。
	白板を固定するために使用するビスまたは釘については、長さ・種類は状況に応じて適切なものを選定すること。
	白板設置後に生じた既設黒板枠と新設白板との隙間は、合板等を用いて、表面上の段差がなくなるように処理すること。 また、合板等は、教室の壁の色と合わせること。
	改修後の白板サイズは目安としているため、受注者は現地調査を実施し、実寸を計測したうえで制作、納品すること

(2)既存黒板・改修後のサイズ目安

学校名	既存黒板サイズ	改修後ホワイトボード（白板）サイズ（目安）	数量	対象教室
芦屋小学校	上下可動式（2 面×2） W1,750×H870×4 面	平面 1 面 W3,700×H1,835	1	音楽室
	平面 1 面 W3,600×H1,200	平面 1 面 W3,600×H1,200	3	通級指導教室、家庭科室、理科室
芦屋東小学校	上下可動式（2 面×2） W1,750×H870×4 面	平面 1 面 W3,700×H1,835	2	理科室、音楽室
	平面 1 面 W3,600×H1,200	平面 1 面 W3,600×H1,200	5	図工室、図書室、家庭科室、児童会室、PTA 室
山鹿小学校	上下可動式（2 面×2） W1,750×H870×4 面	平面 1 面 W3,700×H1,835	1	理科室
	平面 1 面 W3,600×H1,200	平面 1 面 W3,600×H1,200	9	音楽室、図工室、家庭科室、特別支援学級（なのはな）、ふれあいルーム、チャレンジ高学年、チャレンジ中学年、通級指導教室、校内教育支援センター
芦屋中学校	上下可動式（2 面） W2,700×H870×2 面	平面 1 面 W2,770×H1,835	1	第 2 技術室
	平面 2 面（1 面は掲示板） W1,770×H870×2 面	平面 1 面 W3,685×H900	1	図書室
	引分式 3 面 W2,990×H1,470×1 面 W1,490×H1,470×2 面	平面 1 面 W3,600×H1,200	1	生徒会室

	平面 1 面 W3,570×H1,170	平面 1 面 W3,600×H1,200	6	第 1 技術室、相談室、多目的室、被服室、進路相談室、多目的室 2

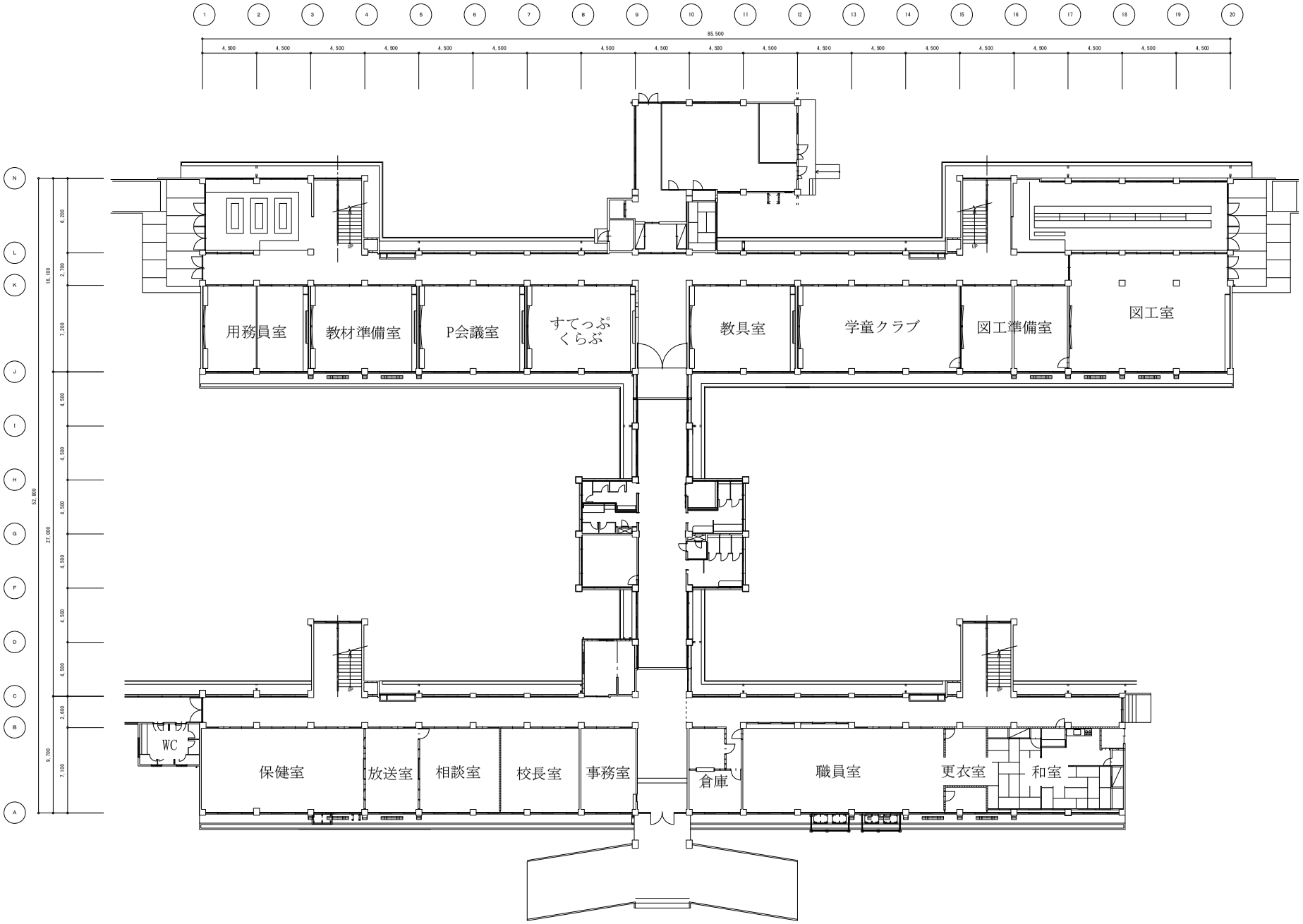
（3） 交換対象教室および施工方法

既存黒板タイプ	対象学校・教室	ホワイトボード（白板） サイズ(㎜)	施工方法
上下可動式黒板 （4 面→平面）	【芦屋小学校】 ・音楽室 【芦屋東小学校】 ・理科室、音楽室 【山鹿小学校】 ・理科室	W3,700×H1,835	①既存上下黒板の板面を撤去する ※芦屋中学校の図書室は既存が平面黒板のため、板面を撤去しなくても可。 ②既存上下黒板の木枠の前にアルミ枠平面白板を取付する ③既存黒板枠と新設白板の隙間を合板等でなくす。なお、合板は表面上の段差がなくなるように処理する。
上下可動式黒板 （2 面→平面）	【芦屋中学校】 ・第 2 技術室	W2,770×H1,835	
黒板+掲示板 （2 面→平面）	【芦屋中学校】 ・図書室	W3,685×H900	①二層貼白板の形状で納品し、既存黒板の表面に取り付ける。 ②二層貼の周囲に押縁を回し固定する。 ③アルミ枠の場合、四隅はコーナーキャップを取り付ける。
引分式黒板	【芦屋中学校】 ・生徒会室	W3,600×H1,200	①既存黒板の前面のスライド部の黒板を撤去する。 ②四方枠はずした白板を既存黒板の表面に取り付ける。 ③白板の周囲にアルミ枠を回し、四隅はコーナーキャップを取り付ける。
	【山鹿小学校】 ・音楽室	W3,600×H1,200	①前面のスライド部の黒板を撤去する ②既存の引分黒板の後面に白板を取り付け、周囲に押縁を回し固定する。
平面または 曲面黒板	上記以外の張替え対象教室	W3,600×H1,200	①二層貼白板の形状で納品し、既存黒板の表面に取り付ける。 ②二層貼の周囲に押縁を回し固定する。 ③アルミ枠の場合、四隅はコーナーキャップを取り付ける。

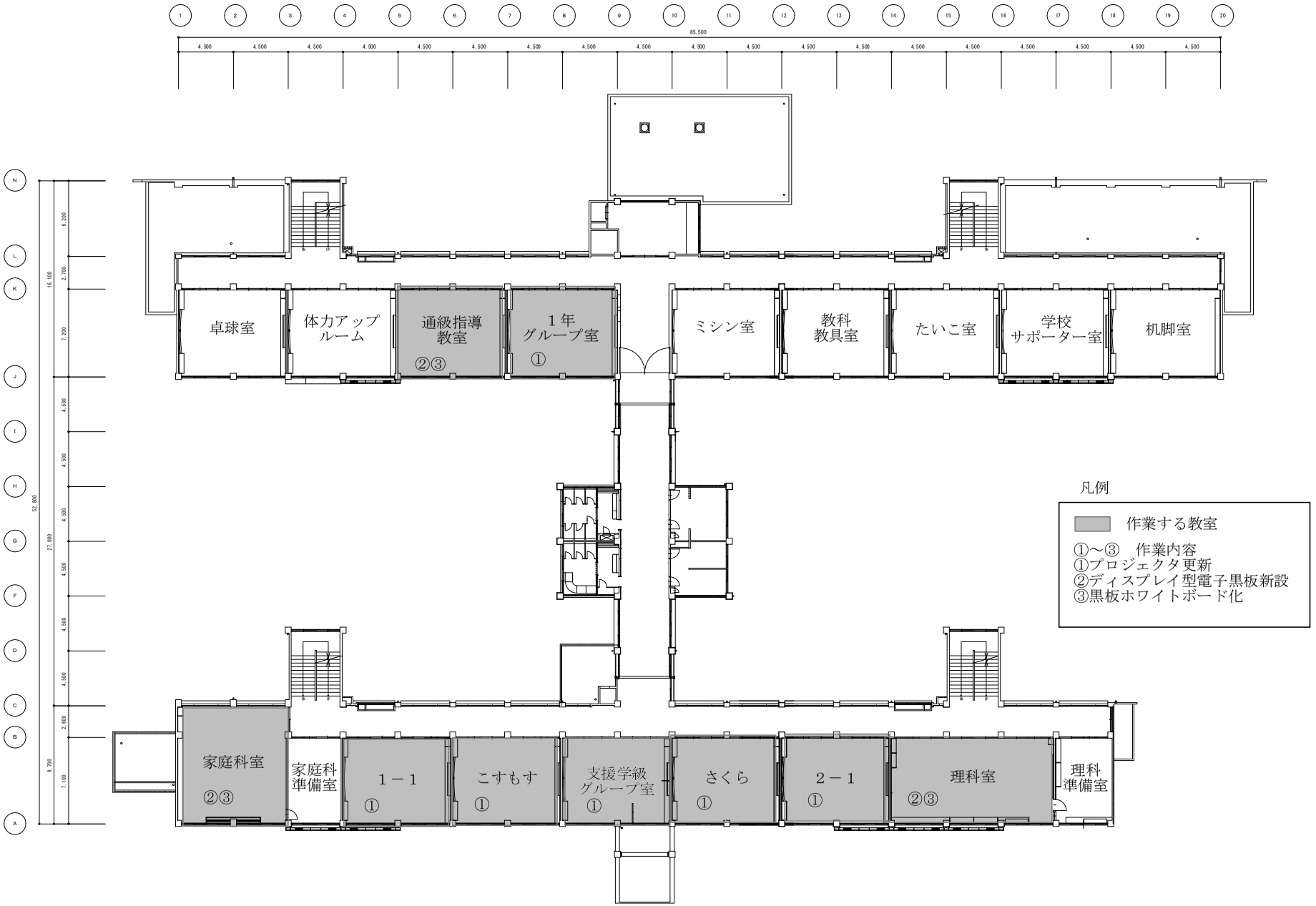
別紙1．改修教室及び機器数量表

学校名	項目	対象	規格	数量
芦屋小学校	プロジェクタ更新	プロジェクタ型電子黒板	EB-770FI	17
	電子黒板新設	ディスプレイ型電子黒板	65型以上	4
	黒板改修 （ホワイトボード化）	通級指導室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		家庭科室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		理科室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		音楽室（上下4面→平面）	W3,700×H1,835	1
芦屋東小学校	プロジェクタ更新	プロジェクタ型電子黒板	EB-770FI	14
	インターフェイスボックス設置	インターフェイスボックス	ELPCB03N	1
	電子黒板新設	ディスプレイ型電子黒板	65型以上	5
	黒板改修 （ホワイトボード化）	図工室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		図書室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		家庭科室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		児童会室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		PTA室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		音楽室（上下4面→平面）	W3,700×H1,835	1
		理科室（上下4面→平面）	W3,700×H1,835	1
山鹿小学校	プロジェクタ更新	プロジェクタ型電子黒板	EB-770FI	18
	電子黒板新設	ディスプレイ型電子黒板	65型以上	5
	黒板改修 （ホワイトボード化）	図工室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		家庭科室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		特別支援学級なのはな（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		ふれあいルーム（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		チャレンジ高学年（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		チャレンジ中学年（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		通級指導教室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		校内教育支援センター（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		音楽室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		理科室（上下4面→平面）	W3,700×H1,835	1
芦屋中学校	プロジェクタ更新	プロジェクタ型電子黒板	EB-770FI	25
	電子黒板新設	ディスプレイ型電子黒板	65型以上	2
	黒板改修 （ホワイトボード化）	第1技術室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		相談室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		多目的室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		被服実習室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		進路相談室（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		多目的室2（平面→平面）	W3,600×H1,200	1
		図書室（平面小型→平面） ※掲示板部分含む	W3,685×H900	1
		生徒会室（横3面→平面）	W3,600×H1,200	1
		第2技術室（上下4面→平面）	W2,770×H1,835	1
教育支援センター	電子黒板新設	ディスプレイ型電子黒板	65型以上	1

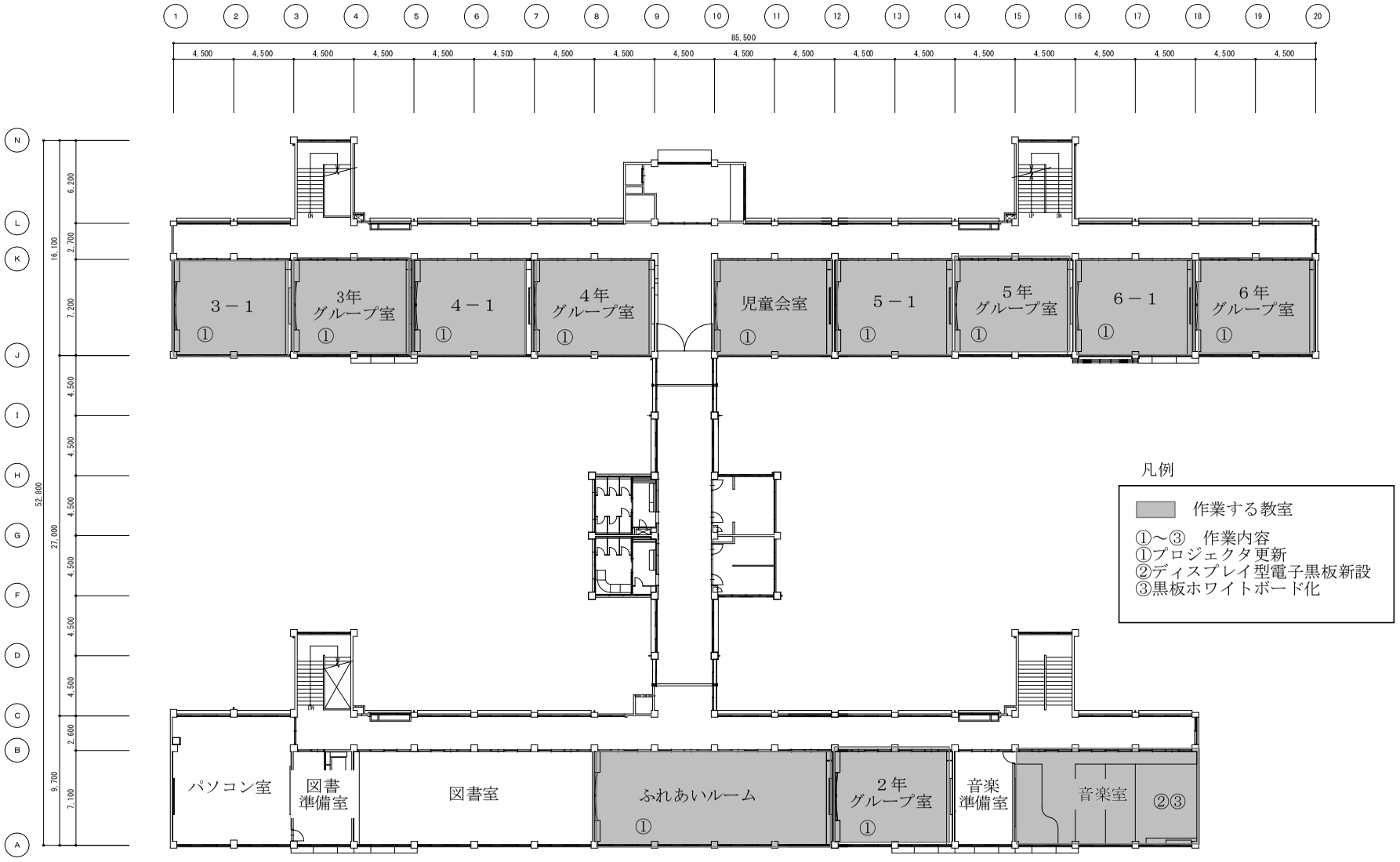
※ホワイトボードの単位はmm


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
85,500
4,500
N
L
K
J
I
H
G
F
D
C
B
A
52,800
16,100
6,200
2,700
7,200
4,500
4,500
4,500
4,500
4,500
4,500
2,600
9,700
7,100
用務員室
教材準備室
P会議室
すてっぷ
くらぶ
教具室
学童クラブ
図工準備室
図工室
WC
保健室
放送室
相談室
校長室
事務室
倉庫
職員室
更衣室
和室

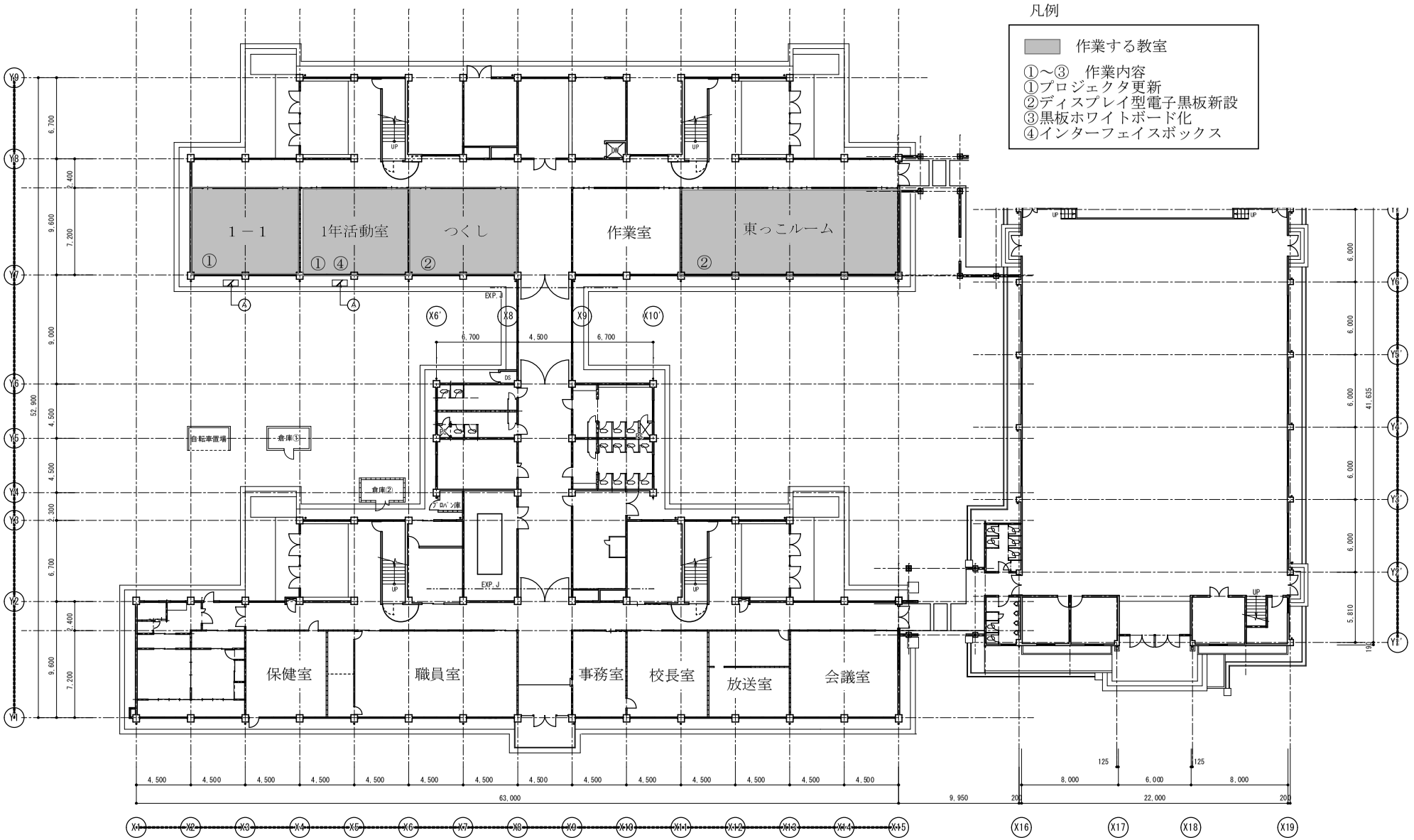
芦屋小学校１階平面図


卓球室
体力アップ
ルーム
通級指導
教室
②③
１年
グループ室
①
ミシン室
教科
教具室
たいこ室
学校
サポーター室
机脚室
家庭科室
②③
家庭科
準備室
１－１
①
こすもす
①
支援学級
グループ室
①
さくら
①
２－１
①
理科室
②③
理科
準備室
凡例
作業する教室
①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化

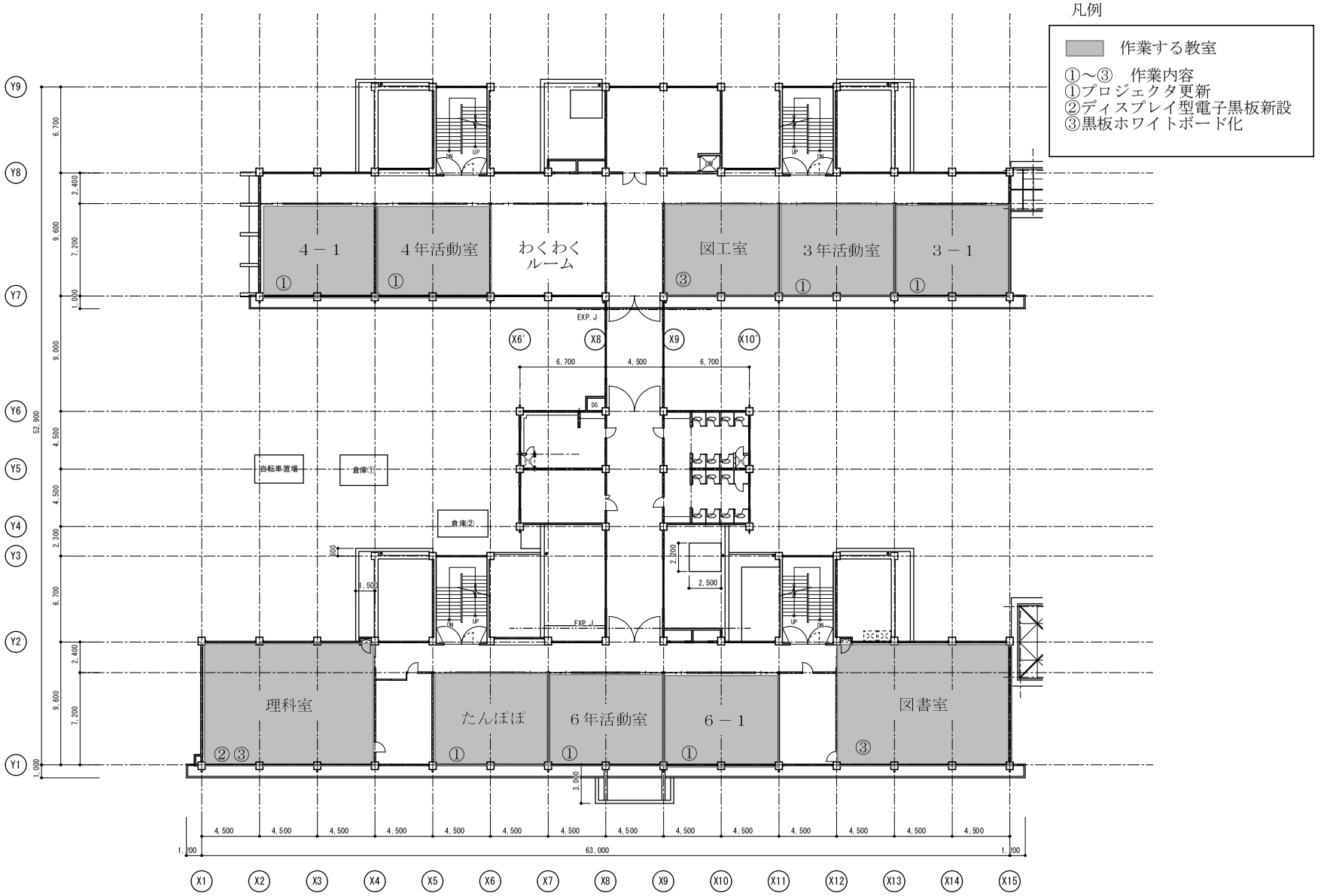
芦屋小学校２階平面図


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
85,500
4,500
N L K J I H G F D C B A
52,800
16,100
6,200
2,700
7,200
27,000
4,500
9,700
2,600
7,100
3－1
①
3年
グループ室
①
4－1
①
4年
グループ室
①
児童会室
①
5－1
①
5年
グループ室
①
6－1
①
6年
グループ室
①
パソコン室
図書
準備室
図書室
ふれあいルーム
①
2年
グループ室
①
音楽
準備室
音楽室
②③
凡例
作業する教室
①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化

芦屋小学校３階平面図



芦屋東小学校１階平面図



芦屋東小学校２階平面図

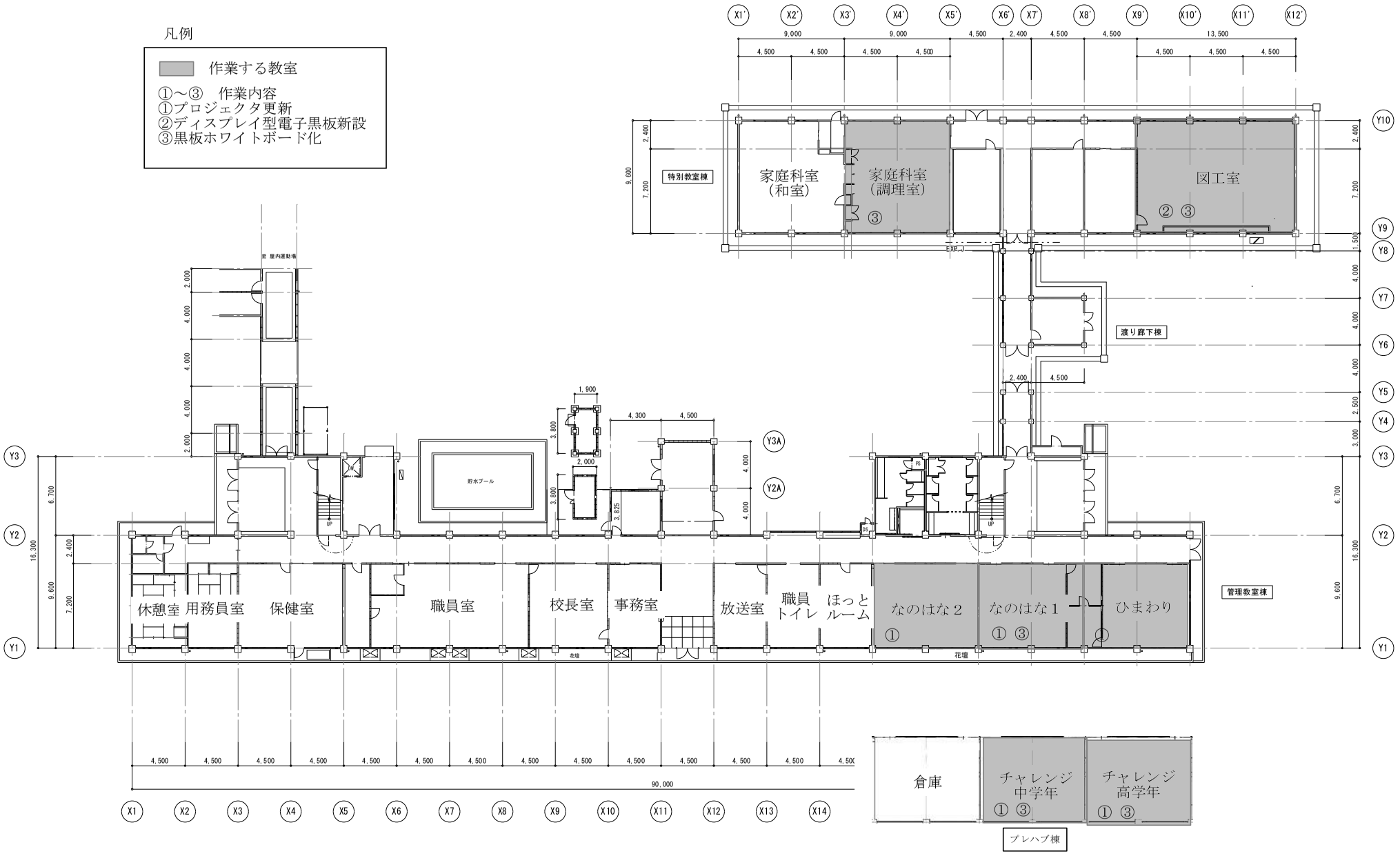
凡例

作業する教室

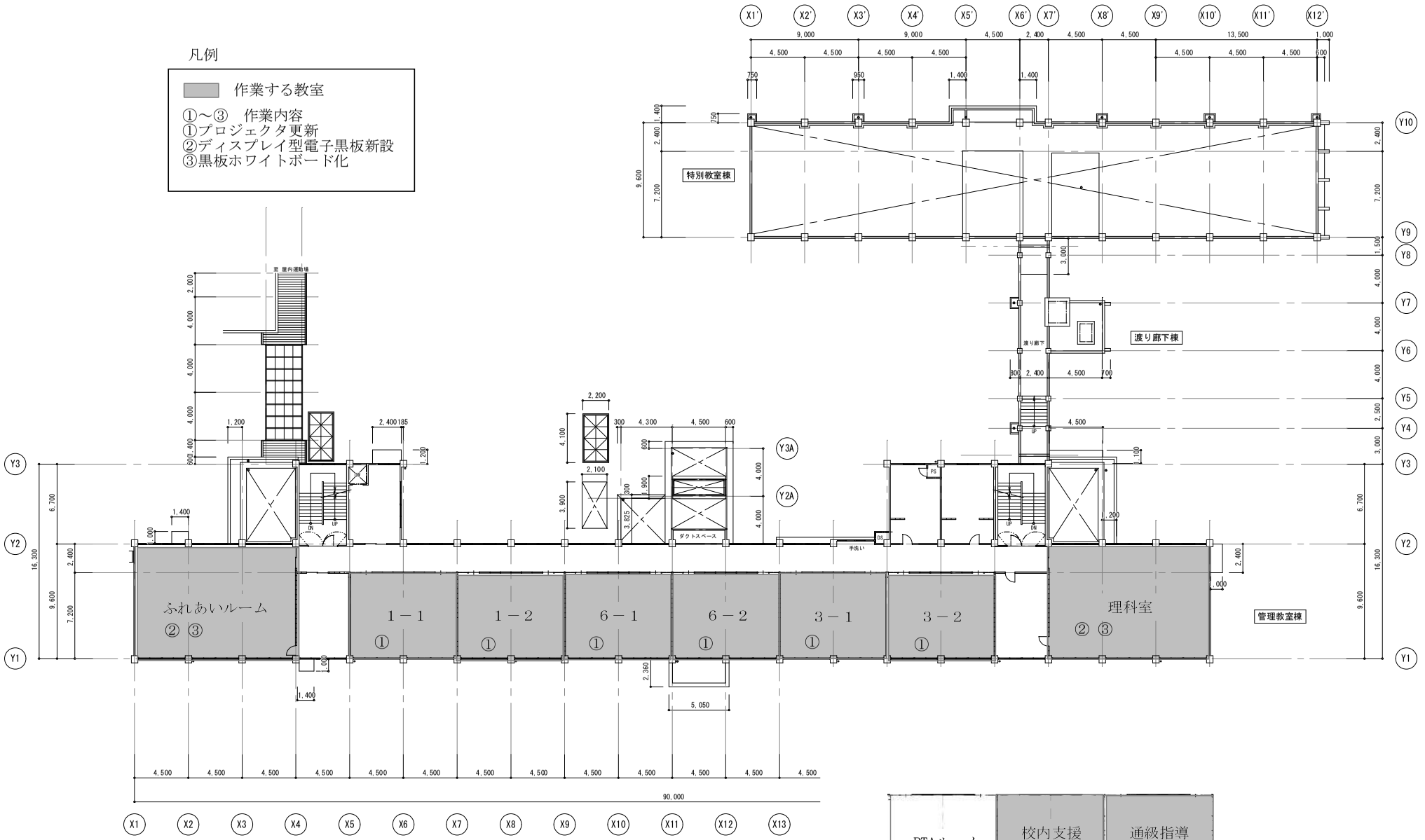
①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化



芦屋東小学校３階平面図


凡例
作業する教室
①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化
特別教室棟
家庭科室
（和室）
家庭科室
（調理室）
③
図工室
② ③
渡り廊下棟
管理教室棟
屋内運動場
貯水プール
休憩室
用務員室
保健室
職員室
校長室
事務室
放送室
職員
トイレ
ほっと
ルーム
なのはな２
①
なのはな１
① ③
ひまわり
①
花壇
倉庫
チャレンジ
中学年
① ③
チャレンジ
高学年
① ③
プレハブ棟
90,000

山　鹿　小　学　校　１　階　平　面　図

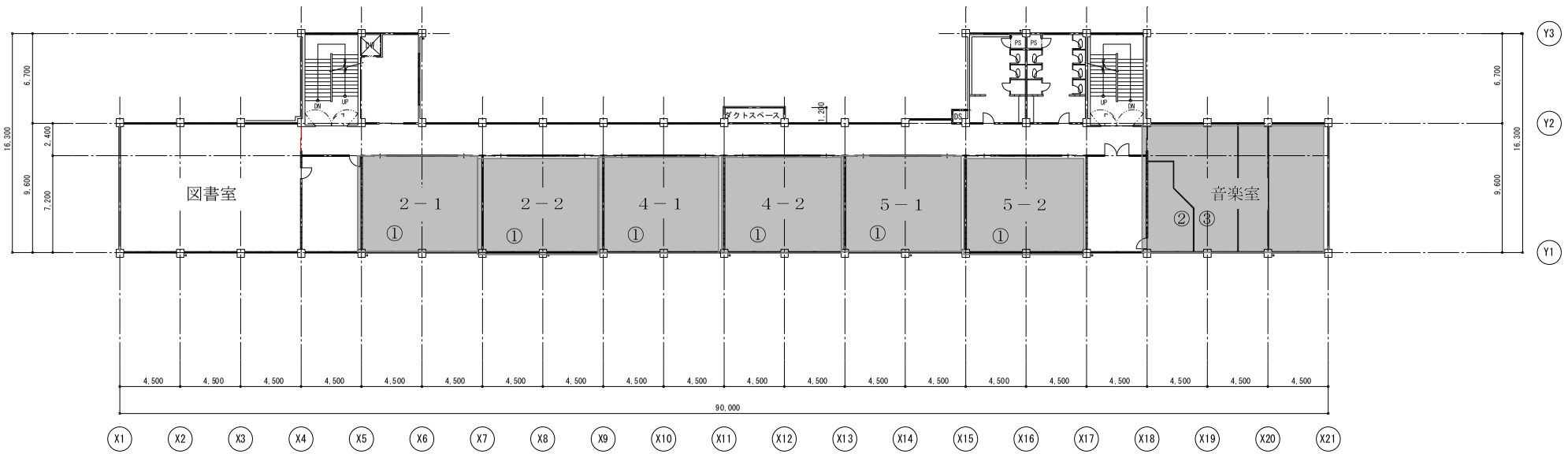

凡例
作業する教室
①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化
特別教室棟
渡り廊下棟
管理教室棟
屋内運動場
ふれあいルーム
② ③
1－1
①
1－2
①
6－1
①
6－2
①
3－1
①
3－2
①
理科室
② ③
ダクトスペース
手洗い
PTAルーム
校内支援
センター
① ③
通級指導
教室
② ③
プレハブ棟

山 鹿 小 学 校 2 階 平 面 図

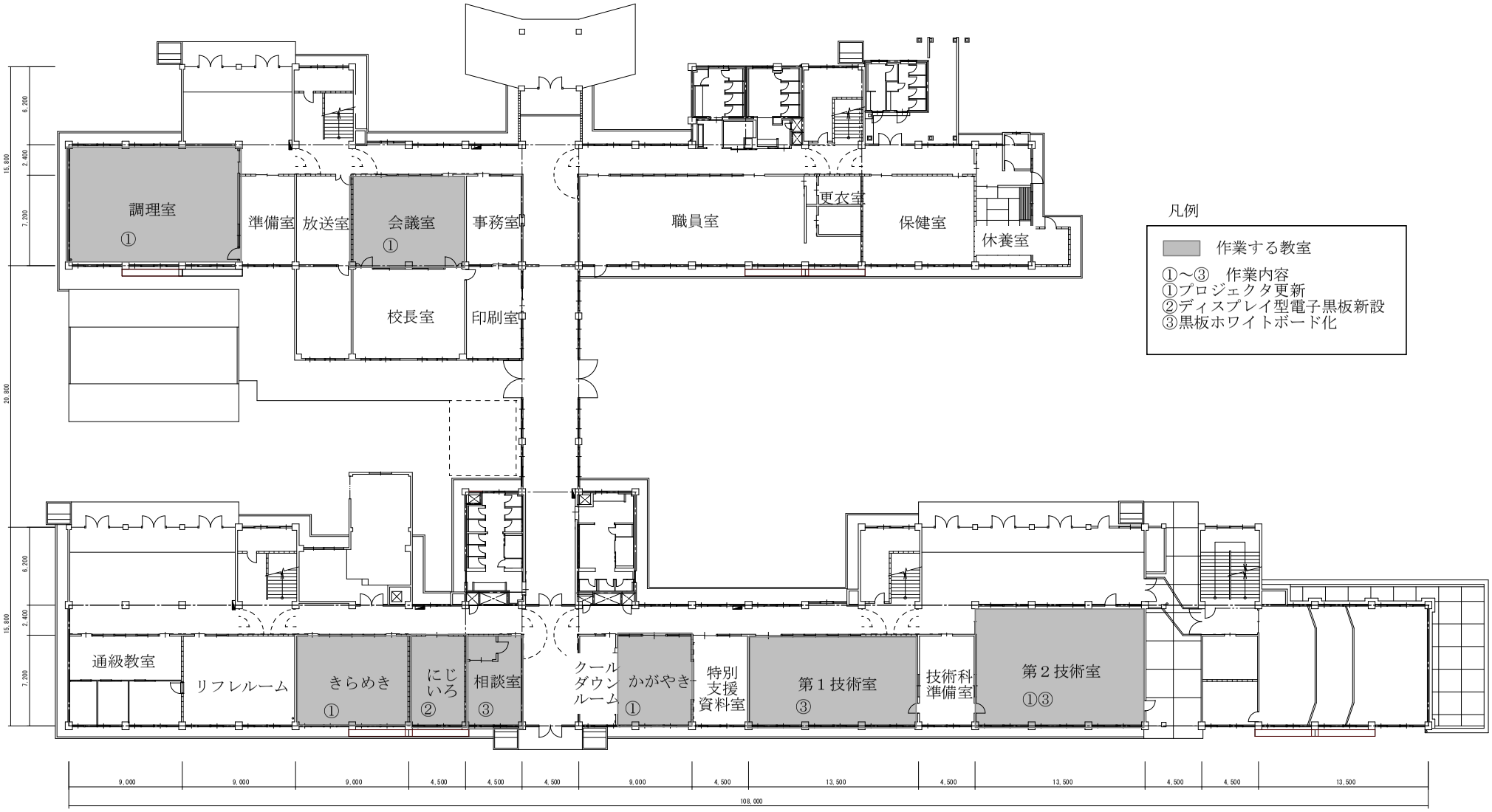
凡例

作業する教室

①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化



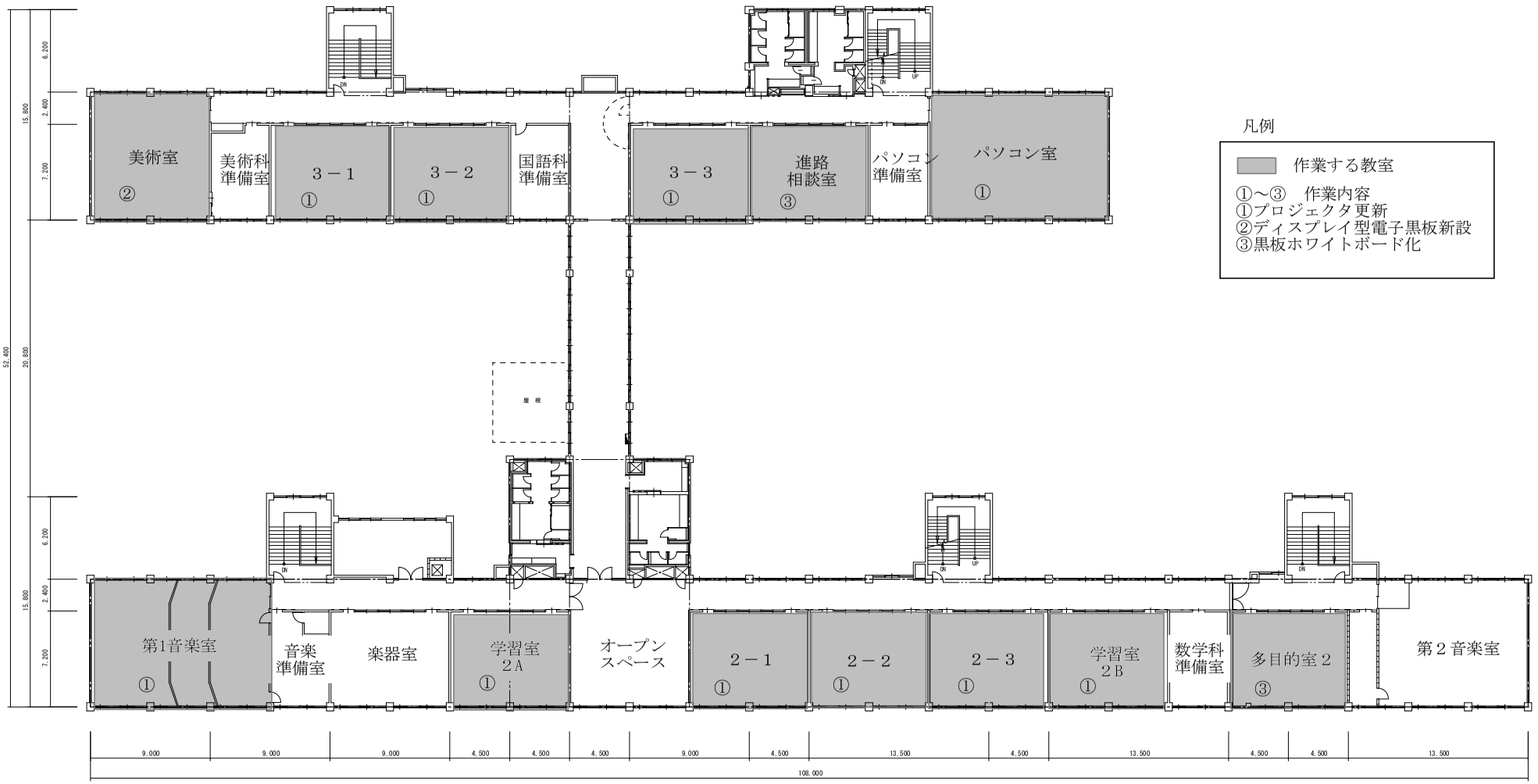
山　鹿　小　学　校　３　階　平　面　図


調理室
①
準備室
放送室
会議室
①
事務室
校長室
印刷室
職員室
更衣室
保健室
休養室
通級教室
リフレルーム
きらめき
①
にじいろ
②
相談室
③
クールダウンルーム
かがやき
①
特別支援資料室
第１技術室
③
技術科準備室
第２技術室
①③
凡例
作業する教室
①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化
6,200
2,400
7,200
15,800
20,800
9,000
4,500
13,500
108,000

芦屋中学校１階平面図


被服室
①③
和室
学習室
3A
①
学習室
3B
①
第1理科室
①
理科準備室
第2理科室
①
屋根
屋外倉庫
学習室
1A
①
多目的室
③
1－1
①
1－2
①
オープン
スペース
1－3
①
学習室
1B
①
社会科
教具室
生徒会室
③
図書
準備室
図書室
③
凡例
作業する教室
①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化
9,000
9,000
9,000
9,000
9,000
9,000
9,000
9,000
13,500
4,500
4,500
13,500
108,000
52,400
15,800
6,200
2,400
7,200
20,800
15,800
6,200
2,400
7,200

芦屋中学校２階平面図


美術室
②
美術科
準備室
３－１
①
３－２
①
国語科
準備室
３－３
①
進路
相談室
③
パソコン
準備室
パソコン室
①
屋根
第1音楽室
①
音楽
準備室
楽器室
学習室
２A
①
オープン
スペース
２－１
①
２－２
①
２－３
①
学習室
２B
①
数学科
準備室
多目的室２
③
第２音楽室
凡例
作業する教室
①～③　作業内容
①プロジェクタ更新
②ディスプレイ型電子黒板新設
③黒板ホワイトボード化
52,400
15,800
6,200
2,400
7,200
20,800
15,800
6,200
2,400
7,200
9,000
9,000
9,000
4,500
4,500
4,500
9,000
4,500
13,500
4,500
13,500
4,500
4,500
13,500
108,000

芦屋中学校３階平面図